

通信教育実施計画

【基本情報】

教 科	芸術科	科目	音楽 I	【○】選択必修	単位数	2
担 当 者	四辻 多恵子					
使用教科書	音楽 I 改訂版 Tutti+ 大修館書店					
使用副教材	高校生のための音楽研究ノート 教育芸術社					
スクーリング(S) 義務出席時間数	8	レポート(R)必要提出本数	6	テスト(T)必要合格回数		
科目の内容 目標等	小中学校で使用したリコーダーを使って、できるだけアンサンブル(合奏)ができるようにしていきます。歌唱の実技にも力を入れています。					

【年間指導計画(1) 科目スクーリング】

a 講座			b 講座			スクーリング内容	R 番号	テスト
月日	曜	時限	月日	曜	時限			
5/10	日	3,4	5/18	月	2,3	「少年時代」発声とヴォイストレーニング(歌唱)、リコーダーを吹いてみよう ①	R1	テストはありません
6/24	水	2,3	7/5	日	2,3	「この道」ソルフェージュ(歌唱)、リコーダーを吹いてみよう ②	R2	
8/31	月	2,3	8/26	水	3,4	「Caro mio ben」イタリア語で歌ってみよう(歌唱)、リコーダーを吹いてみよう ③	R3	
9/28	月	2,3	10/21	水	2,3	「野ばら」ドイツ語で歌ってみよう(歌唱)リコーダーを吹いてみよう ④	R4	
12/6	日	2,3	11/30	月	2,3	ポピュラー音楽の世界(歌唱)リコーダーを吹いてみよう ⑤	R5	
12/20	日	2,3	12/14	月	2,3	日本音楽史概説(歌唱)日本の音楽の鑑賞	R6	
1/10	日	2,3,4	1/10	日	2,3,4	ビデオ鑑賞		

【年間指導計画(2) 教科スクーリング】

月日	曜	時限	スクーリング内容	対 象	場 所
5/24	日	3,4	個別指導	全講座対象	朱雀高
7/19	日	4	個別指導	全講座対象	朱雀高
8/30	日	1,2	個別指導	全講座対象	朱雀高
9/7	月	4	個別指導	全講座対象	朱雀高
10/26	月	4	個別指導	全講座対象	朱雀高
1/31	日	3,4	個別指導	全講座対象	朱雀高

【レポート提出締切・留意事項】

	月日	曜	時間	対象レポート	留意事項
一次	12/2	水	21:00	レポート1、2	内容不備→受付不可→未提出扱い
最終	2/3	水	21:00	レポート3、4、5、6	内容不十分→再提出不可

【連絡事項】

・リコーダーは各自で用意してください。(ソプラノ・アルトリコーダーなど種類は自由です。)希望者には、購入を斡旋します。

【学習の成果に係る評価規準】

	主体的に学習に取り組む態度	知識・技能	思考・判断・表現
A	・歌唱、器楽演奏を通じて、主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	・創意工夫のある音楽表現をするために必要な技能を十分身につけ、歌唱・器楽、創作で表現している。	・表現意図をもち、音楽のよさを評価しながら、その美しさを感じながら聴取できる。
B	・歌唱、器楽演奏を通じて、主体的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	・創意工夫のある音楽表現をするために必要な技能を身につけ、歌唱・器楽、創作で表現している。	・音楽のよさを評価しながら、その美しさを感じながら聴取できる。
C	・歌唱、器楽演奏を通じて、表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	・音楽表現をするために必要な技能を身につけ、歌唱・器楽、創作で表現している。	・音楽のよさ、その美しさを感じながら聴取できる。

添削課題（レポート）の評価規準

- ・レポートの評価は5段階とします。
- ・レポートの未記入等の不備、誤答が多い場合は評価「1」とし、不合格、再提出となります。
- ・レポートの未記入部分が多いなど、著しく不備な場合は、受付抹消、再提出となります。

面接指導（スクーリング）

- ・5分以上の遅刻・早退は出席になりません。
- ・義務出席時間以上に出席してもかまいません。

通信教育実施計画

【基本情報】

教科	芸術科	科目	美術 I	【○】選択必修	単位数	2
担当者	松田 淳一					
使用教科書	美術 I 光村図書出版					
使用副教材						
スクーリング(S)	義務出席時間数	8	レポート(R)必要提出本数	6	テスト(T)必要合格回数	
科目の内容 目標等	ものをじっくり見る「観察力」、伝えたいことを効果的に表現する「発想・構想力」そして、発想・構想したものを現実のものにする「造形力・表現技法」、美術作品の良さを読みとる「鑑賞力」を身につけます。					

【年間指導計画(1) 科目スクーリング】

a 講座			b 講座			スクーリング内容	R 番号	テスト
月日	曜	時 限	月日	曜	時 限			
5/10	日	3,4	5/13	水	2,3	鉛筆デッサン 立体的な物体	R1	テストはありません
6/29	月	2,3	7/5	日	2,3	人物画 水彩画	R2	
8/31	月	2,3	8/26	水	3,4	彫刻 木彫 身の回りにあるもの	R3	
10/4	日	3,4	10/7	水	2,3	デザイン 知らせるポスター	R4	
11/18	水	2,3	11/25	水	2,3	版画 ステンシル(型版、孔版)	R5	
12/20	日	3,4	12/14	月	2,3	個別指導		
1/10	日	2,3	1/10	日	2,3	小論文	R6	

【年間指導計画(2) 教科スクーリング】

月日	曜	時 限	スクーリング内容	対 象	場 所
5/24	日	3,4	個別指導	全講座対象	朱雀高
7/19	日	4	個別指導	全講座対象	朱雀高
8/30	日	1,2	個別指導	全講座対象	朱雀高
9/7	月	4	個別指導	全講座対象	朱雀高
10/26	月	4	個別指導	全講座対象	朱雀高
1/31	日	3,4	個別指導	全講座対象	朱雀高

【レポート提出締切・留意事項】

	月日	曜	時間	対象レポート	留意事項
一次	12/2	水	21:00	レポート1、2	内容不備→受付不可→未提出扱い
最終	2/3	水	21:00	レポート3、4、5、6	内容不十分→再提出不可

【連絡事項】

- ・用具・材料を持参しない人は実習ができません。
 - ・R1のモチーフ、R3・5の材料は、スクーリング当日、学校で用意します。
 - ・スケッチブックは B4 サイズ以上で画用紙のどじてあるもの。小さなスケッチブックは不可となります。
 - ・レポートは、R1 から順に提出しなければならないことはありません。早くできた作品から提出して下さい。
- ※R6 は R1～5 が合格してから提出してください。

【学習の成果に係る評価規準】

	主体的に学習に取り組む態度	知識・技能	思考・判断・表現
A	・年間を通じて、主体的・計画的かつ熱心にレポートの表現・鑑賞に取り組む、前向きな姿勢で幅広い学習活動に取り組もうとしている。	・対象や事象を捉える造形的な視点を十分に理解している。 ・表現方法を創意工夫し、創造性豊かに表現している。	・造形の美しさ、表現の意図・工夫を理解し、豊かな発想力と構想力を発揮している。
B	・年間を通じて、熱心にレポートの表現・鑑賞に取り組む、前向きな姿勢で幅広い学習活動に取り組もうとしている。	・対象や事象を捉える造形的な視点を理解している。 ・表現方法を創意工夫している。	・造形の美しさ、表現の意図・工夫を理解し、豊かな発想力を発揮している。
C	・年間を通じて、熱心にレポートの表現・鑑賞に取り組む、幅広い学習活動に取り組もうとしている。一方、主体性・計画性、レポートの表現には課題がみられた。	・対象や事象を捉える造形的な視点を理解している。 ・表現方法を工夫している。	・造形の美しさ、表現の意図・工夫を理解し、発想力を発揮しようと努力している。

添削課題（レポート）の評価規準

<ul style="list-style-type: none"> ・レポートの評価は5段階とします。 ・レポートの不備、場合は評価「1」とし、不合格、再提出となります。 ・レポートの未完成部分が多いなど、著しく不備な場合は、受付抹消、再提出とします。
--

面接指導（スクーリング）

<ul style="list-style-type: none"> ・5分以上の遅刻・早退は出席になりません。 ・義務出席時間以上に出席してもかまいません。

通信教育実施計画

【基本情報】

教科	芸術科	科目	書道 I	【○】選択必修	単位数	2
担当者	佐々田 澄恵					
使用教科書	書道 I 光村図書出版					
使用副教材						
スクーリング(S) 義務出席時間数	8	レポート(R)必要提出本数	6	テスト(T)必要合格回数		
科目の内容 目標等	レポートは、それぞれの「書」の成り立ちを知り、「書」に関する理解を深めるための課題と、毛筆や硬筆による実技課題から成り立っています。					

【年間指導計画(1) 科目スクーリング】

a 講座			b 講座			スクーリング内容	R 番号	テスト
月日	曜	時 限	月日	曜	時 限			
5/10	日	3,4	5/18	月	2,3	楷書の学習	R1	テストはあ りません
6/24	水	2,3	7/5	日	2,3	行書の学習	R2	
8/31	月	2,3	8/26	水	3,4	創作	R3	
9/28	月	2,3	10/4	日	2,3	仮名の学習	R4	
11/15	日	1,2	11/11	水	3,4	漢字・仮名交じりの書	R5	
12/20	日	2,3	12/14	月	2,3	書道史・生活に生きる書	R6	
1/10	日	2,3	1/10	日	2,3	個別指導		

【年間指導計画(2) 教科スクーリング】

月日	曜	時 限	スクーリング内容	対 象	場 所
5/24	日	3,4	個別指導	全講座対象	朱雀高
7/19	日	4	個別指導	全講座対象	朱雀高
8/30	日	1,2	個別指導	全講座対象	朱雀高
9/7	月	4	個別指導	全講座対象	朱雀高
10/26	月	4	個別指導	全講座対象	朱雀高
1/31	日	3,4	個別指導	全講座対象	朱雀高

【レポート提出締切・留意事項】

	月日	曜	時間	対象レポート	留意事項
一次	12/2	水	21:00	レポート1、2	内容不備→受付不可→未提出扱い
最終	2/3	水	21:00	レポート3、4、5、6	内容不十分→再提出不可

【連絡事項】

- ・スクーリングには教科書、半紙、必要な用具(筆、墨液など)を必ず持参すること。
- ・毛せん(下敷き)、硯、文鎮は学校にありますので、持ってくる必要はありません。
- ・筆を持つ前に教科書やレポートの説明文をよく読むこと。
- ・R4 で使用する仮名用半紙はスクーリング時に学校で配付します。
- ・R5 で使用する画仙紙半切 1/3 はスクーリング時に学校で配付します。

【学習の成果に係る評価規準】

	主体的に学習に取り組む態度	知識・技能	思考・判断・表現
A	・年間を通じて、主体的・計画的かつ熱心にレポートの書写、表現・鑑賞に取り組み、幅広い学習活動に取り組もうとしている。	・古典の書体、書風と用筆・運筆のかかわりについて、深く理解している。 ・日本・中国の伝統と文化、各書体特有の線質・字形の特徴を十分に理解した表現力を身につけている。	・書体を捉える視点を十分に理解している。 ・用筆、運筆、字形、全体構成について表現方法を創意工夫し、創造性豊かに表現している。
B	・年間を通じて、主体的にレポートの書写、表現・鑑賞に取り組み、幅広い学習活動に取り組もうとしている。	・古典の書体、書風と用筆・運筆のかかわりについて、理解している。 ・各書体特有の線質・字形の特徴を理解した表現力を身につけている。	・書体を捉える視点を理解している。 ・用筆、運筆、字形、全体構成について表現方法を創意工夫して表現している。
C	・年間を通じて、レポートの書写、表現・鑑賞に取り組み、幅広い学習活動に取り組もうとしている。	・古典の書体、書風と用筆・運筆のかかわりについて、深く理解している。 ・各書体特有の線質・字形の特徴を理解している。	・書体を捉える視点に理解している。 ・用筆、運筆、字形、全体構成について表現方法を工夫し、表現している。

添削課題（レポート）の評価規準

- ・レポートの評価は5段階とします。
- ・レポートの不備、場合は評価「1」とし、不合格、再提出となります。
- ・レポートの未完成部分が多いなど、著しく不備な場合は、受付抹消、再提出とします。

面接指導（スクーリング）

- ・5分以上の遅刻・早退は出席になりません。
- ・義務出席時間以上に出席してもかまいません。

通信教育実施計画

【基本情報】

教科	芸術科	科目	音楽Ⅱ	【 】必修 【○】選択	単位数	2
担当者	四辻 多恵子					
使用教科書	音楽Ⅱ Tutti+ 大修館書店					
使用副教材						
スクーリング(S)	義務出席時間数	8	レポート(R)必要提出本数	6	テスト(T)必要合格回数	
科目の内容 目標等	クラシックギター(学校にあるもの)を初歩から学習します。レポートでは音楽Ⅰの理論を深めて学習します。歌唱の実技にも力を入れています。					

【年間指導計画(1) 科目スクーリング】

講座全員			スクーリング内容	R 番号	テスト
月日	曜	時限			
6/7	日	5,6	「風の子供」その他(歌唱)、ギター実技基礎Etude①	R1	テストはありません
6/29	月	3,4	「歌の翼に」その他、ギター実技基礎Etude①・②	R2	
7/19	日	2,3	「Amazing grace」(歌唱)、ギター実技基礎Etude①～③	R3	
9/13	日	2,3	「Core'ngrato」(歌唱)、ギター実技基礎Etude①～③	R4	
11/2	月	2,3	ギター実技基礎Etude①～③、世界のいろいろな音楽を聴こう	R5	
12/9	水	2,3	ギター実技基礎Etude①～③、「ワールド・ミュージック」	R6	
1/10	日	2,3,4	ビデオ鑑賞		

【年間指導計画(2) 教科スクーリング】

月日	曜	時限	スクーリング内容	対象	場所
5/24	日	3,4	個別指導	全講座対象	朱雀高
7/19	日	4	個別指導	全講座対象	朱雀高
8/30	日	1,2	個別指導	全講座対象	朱雀高
9/7	月	4	個別指導	全講座対象	朱雀高
10/26	月	4	個別指導	全講座対象	朱雀高
1/31	日	3,4	個別指導	全講座対象	朱雀高

【レポート提出締切・留意事項】

	月日	曜	時間	対象レポート	留意事項
一次	12/2	水	21:00	レポート1、2	内容不備→受付不可→未提出扱い
最終	2/3	水	21:00	レポート3、4、5、6	内容不十分→再提出不可

【連絡事項】

・ギターは各自で用意する必要はありません。

【学習の成果に係る評価規準】

	主体的に学習に取り組む態度	知識・技能	思考・判断・表現
A	・歌唱、器楽演奏を通じて、主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	・創意工夫のある音楽表現をするために必要な技能を十分身につけ、歌唱・器楽、創作で表現している。	・表現意図をもち、音楽のよさを評価しながら、その美しさを感じながら聴取できる。
B	・歌唱、器楽演奏を通じて、主体的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	・創意工夫のある音楽表現をするために必要な技能を身につけ、歌唱・器楽、創作で表現している。	・音楽のよさを評価しながら、その美しさを感じながら聴取できる。
C	・歌唱、器楽演奏を通じて、表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	・音楽表現をするために必要な技能を身につけ、歌唱・器楽、創作で表現している。	・音楽のよさ、その美しさを感じながら聴取できる。

添削課題（レポート）の評価規準

<ul style="list-style-type: none"> ・レポートの評価は5段階とします。 ・レポートの未記入等の不備、誤答が多い場合は評価「1」とし、不合格、再提出となります。 ・レポートの未記入部分が多いなど、著しく不備な場合は、受付抹消、再提出となります。

面接指導（スクーリング）

<ul style="list-style-type: none"> ・5分以上の遅刻・早退は出席になりません。 ・義務出席時間以上に出席してもかまいません。

通信教育実施計画

【基本情報】

教科	芸術科	科目	美術Ⅱ	【 】必修【○】選択	単位数	2
担当者	松田 淳一					
使用教科書	美術Ⅱ 光村図書出版					
使用副教材						
スクーリング(S)	義務出席時間数	8	レポート(R)必要提出本数	6	テスト(T)必要合格回数	
科目の内容 目標等	美術Ⅰの履修成果をもとに、ものをじっくり見る「観察力」、伝えたいことを効果的に表現する「発想・構想力」そして、発想・構想したものを現実のものにする「造形力・表現技法」、美術作品の良さを読みとる「鑑賞力」を身につけます。					

【年間指導計画(1) 科目スクーリング】

講座全員			スクーリング内容	R 番号	テスト
月日	曜	時 限			
5/18	月	2,3	デッサン 鉛筆画 1 枚 水彩画 2 枚(アクリル画も可)	R1	テストはありません
6/24	水	2,3	人物画 鉛筆画 1 枚 水彩画 1 枚 自画像	R2	
7/19	日	1,2	彫刻 彫塑(粘土)	R3	
9/28	月	2,3	デザイン 訴えるポスター	R4	
11/15	日	5,6	版画 木版画(一版多色刷り)「年賀状」	R5	
12/6	日	5,6	個別指導		
1/10	日	2,3	小論文	R6	

【年間指導計画(2) 教科スクーリング】

月日	曜	時 限	スクーリング内容	対 象	場 所
5/24	日	3,4	個別指導	全講座対象	朱雀高
7/19	日	4	個別指導	全講座対象	朱雀高
8/30	日	1,2	個別指導	全講座対象	朱雀高
9/7	月	4	個別指導	全講座対象	朱雀高
10/26	月	4	個別指導	全講座対象	朱雀高
1/31	日	3,4	個別指導	全講座対象	朱雀高

【レポート提出締切・留意事項】

	月日	曜	時間	対象レポート	留意事項
一次	12/2	水	21:00	レポート1、2	内容不備→受付不可→未提出扱い
最終	2/3	水	21:00	レポート3、4、5、6	内容不十分→再提出不可

【連絡事項】

- ・用具・材料を持参しない人は実習はできません。
- ・R1のモチーフ、R3・5の材料は、スクーリング当日、学校で用意します。
- ・スケッチブックはB4サイズ以上で画用紙のどじてあるもの。小さなスケッチブックは不可となります。
- ・レポートは、R1から順に提出しなければならないことはありません。早くできた作品から提出して下さい。
- ※R6はR1～5が合格してから提出してください。

【学習の成果に係る評価規準】

	主体的に学習に取り組む態度	知識・技能	思考・判断・表現
A	・年間を通じて、主体的・計画的かつ熱心にレポートの表現・鑑賞に取り組む、前向きな姿勢で幅広い学習活動に取り組もうとしている。	・対象や事象を捉える造形的な視点を十分に理解している。 ・表現方法を創意工夫し、創造性豊かに表現している。	・造形の美しさ、表現の意図・工夫を理解し、豊かな発想力と構想力を発揮している。
B	・年間を通じて、熱心にレポートの表現・鑑賞に取り組む、前向きな姿勢で幅広い学習活動に取り組もうとしている。	・対象や事象を捉える造形的な視点を理解している。 ・表現方法を創意工夫している。	・造形の美しさ、表現の意図・工夫を理解し、豊かな発想力を発揮している。
C	・年間を通じて、熱心にレポートの表現・鑑賞に取り組む、幅広い学習活動に取り組もうとしている。一方、主体性・計画性、レポートの表現には課題がみられた。	・対象や事象を捉える造形的な視点を理解している。 ・表現方法を工夫している。	・造形の美しさ、表現の意図・工夫を理解し、発想力を発揮しようと努力している。

添削課題（レポート）の評価規準

<ul style="list-style-type: none"> ・レポートの評価は5段階とします。 ・レポートの不備、場合は評価「1」とし、不合格、再提出となります。 ・レポートの未完成部分が多いなど、著しく不備な場合は、受付抹消、再提出とします。
--

面接指導（スクーリング）について

<ul style="list-style-type: none"> ・5分以上の遅刻・早退は出席になりません。 ・義務出席時間以上に出席してもかまいません。

通信教育実施計画

【基本情報】

教科	芸術科	科目	書道Ⅱ	【 】必修 【○】選択	単位数	2
担当者	佐々田 澄恵					
使用教科書	書道Ⅱ 光村図書出版					
使用副教材						
スクーリング(S)	義務出席時間数	8	レポート(R)必要提出本数	6	テスト(T)必要合格回数	
科目の内容 目標等	書道Ⅰで学んだ基本をもとに、篆書・隸書・草書の外に、実用の書も学習します。書の成り立ちを知り、理論的な理解を深めるための筆記と、毛筆や硬筆による実技をおこないます。					

【年間指導計画(1) 科目スクーリング】

講座全員			スクーリング内容	R 番 号	テスト
月日	曜	時 限			
5/27	水	2,3	篆書・隸書の学習	R1	テストはあ りません
6/29	月	3,4	草書・行書の学習	R2	
9/13	日	2,3	楷書の学習	R3	
10/7	水	2,3	創作	R4	
11/18	水	2,3	仮名の学習	R5	
12/3	水	2,3	漢字・仮名交じりの書	R6	
1/10	日	2,3	個別指導		

【年間指導計画(2) 教科スクーリング】

月日	曜	時 限	スクーリング内容	対 象	場 所
5/24	日	3,4	個別指導	全講座対象	朱雀高
7/19	日	4	個別指導	全講座対象	朱雀高
8/30	日	1,2	個別指導	全講座対象	朱雀高
9/7	月	4	個別指導	全講座対象	朱雀高
10/26	月	4	個別指導	全講座対象	朱雀高
1/31	日	3,4	個別指導	全講座対象	朱雀高

【レポート提出締切・留意事項】

	月日	曜	時間	対象レポート	留意事項
一次	12/2	水	21:00	レポート1、2	内容不備→受付不可→未提出扱い
最終	2/3	水	21:00	レポート3、4、5、6	内容不十分→再提出不可

【連絡事項】

- ・スクーリングには教科書、半紙、必要な用具(筆、墨液など)を必ず持参すること。
- ・毛せん(下敷き)、硯、文鎮は学校にありますので、持ってくる必要はありません。
- ・筆を持つ前に教科書やレポートの説明文をよく読むこと。
- ・R5で使用する仮名用半紙はスクーリング時に学校で配付します。
- ・R6で使用する画仙紙半切 1/3 はスクーリング時に学校で配付します。

【学習の成果に係る評価規準】

	主体的に学習に取り組む態度	知識・技能	思考・判断・表現
A	・年間を通じて、主体的・計画的かつ熱心にレポートの書写、表現・鑑賞に取り組み、幅広い学習活動に取り組もうとしている。	・古典の書体、書風と用筆・運筆のかかわりについて、深く理解している。 ・日本・中国の伝統と文化、各書体特有の線質・字形の特徴を十分に理解した表現力を身につけている。	・書体を捉える視点を十分に理解している。 ・用筆、運筆、字形、全体構成について表現方法を創意工夫し、創造性豊かに表現している。
B	・年間を通じて、主体的にレポートの書写、表現・鑑賞に取り組み、幅広い学習活動に取り組もうとしている。	・古典の書体、書風と用筆・運筆のかかわりについて、理解している。 ・各書体特有の線質・字形の特徴を理解した表現力を身につけている。	・書体を捉える視点を理解している。 ・用筆、運筆、字形、全体構成について表現方法を創意工夫して表現している。
C	・年間を通じて、レポートの書写、表現・鑑賞に取り組み、幅広い学習活動に取り組もうとしている。	・古典の書体、書風と用筆・運筆のかかわりについて、深く理解している。 ・各書体特有の線質・字形の特徴を理解している。	・書体を捉える視点に理解している。 ・用筆、運筆、字形、全体構成について表現方法を工夫し、表現している。

添削課題（レポート）の評価規準

- ・レポートの評価は5段階とします。
- ・レポートの不備、場合は評価「1」とし、不合格、再提出となります。
- ・レポートの未完成部分が多いなど、著しく不備な場合は、受付抹消、再提出とします。

面接指導（スクーリング）

- ・5分以上の遅刻・早退は出席になりません。
- ・義務出席時間以上に出席してもかまいません。